

海と人、輝き満ちるまち。



市の花  
はまなでしこ  
The city flower  
Dianthus japonicus



市の木  
やまとたちばな  
The city tree  
Yamato mandarin orange



市の鳥  
かもめ  
The city bird  
Sea gull



市章  
The crest of  
the city

姉妹都市 サンタバーバラ市(米国)  
友好都市 兵庫県三田市

#### 発行：鳥羽市

〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽三丁目1番1号  
TEL:0599-25-1103/FAX:0599-25-3111  
<http://www.city.toba.mie.jp/>

Toba city Municipal Handbook 2014  
Published by Toba City  
3-1-1, Toba, Toba-City, Mie-Prefecture 517-0011  
TEL:0599-25-1103/FAX:0599-25-3111  
<http://www.city.toba.mie.jp/>



この広報紙は、再生紙と、  
環境にやさしい植物油インキを  
使用しています。



# CONTENTS

三重県 鳥羽市 市勢要覧 2014  
Toba City Municipal Handbook 2014

## 鳥羽市の魅力

きらり 海への想い 蒼く輝く海は、まちの宝物	03
きらり 海と生きる 海に寄り添う、人々の知恵	05
きらり 離島を知る 固有の自然と文化、人々の絆	07
きらり 美食の遊び 自然の恵みに育まれた逸品	11
きらり 魂を伝える 歴史を誇る伝統文化 受け継がれる熱い心	13
きらり 歴史を訪ねる 夢と希望をふくらませた偉人たち	15
きらり 鳥羽を巡る旅 海辺のまち、輝く風景を探して	17

## まちづくり

まちの未来像を語る	21
鳥羽のここがスキ！	22
定住・子育ての支援	23
教育・人材育成の推進	25
福祉・医療の充実	27
産業振興・雇用の確保	29
環境保全の対策	31
防災・減災の推進	33
TOBA GUIDE MAP	35
鳥羽市60年のあゆみ	37

神島  
kamishima

答志島  
toshijima

坂手島  
sakatejima

菅島  
sugashima

鳥羽市  
toba city

# 輝き満ちるまち。

古くから「泊まり場」と呼ばれ、  
多くの旅人を温かく迎え  
もてなしの心を育んできた鳥羽市。

美しい海、その恩恵に彩られる海の幸、  
独自の自然や文化を残す4つの離島、  
今なお受け継がれる海女漁の文化。

この地が培ってきた魅力は、  
数えきれないほどにあります。  
また、世界で初めて真珠養殖に  
成功した地としても知られています。

真珠は、幾つもの層が織り重なって輝き、  
層が厚みを増すほどに強い光を放ちます。  
この真珠のように

先人から受け継いだ海の恵みを守り、  
海と人が輝き続けること。  
訪れた人も暮らす人も、  
みんなの笑顔が  
輝き満ちるまちをめざします。

## Toba, the City of "Shine"

Through the ages, Toba has been known as a port town to welcome lots of travelers with its hospitality.

Our city is characterized by its beautiful sea, natural blessings from the sea, tradition of "ama" (female divers) as well as its four islands with unique nature and rich culture. Besides, it has a countless number of attractive tourist spots, and is famous as the place where pearls were cultivated successfully for the first time in the world.

Pearls increase their resplendence as their numerous layers become thicker. It is our duty to conserve the natural blessings from the sea we inherit through generations so that not only the sea but also people here can "shine" just like pearls. In addition, we will aim to make our city a better place where both our residents and guests can always smile.







鳥羽の海には、海女を生業とする女性たちがいます。全国で約2千人いるという海女の半数にあたる約千人が鳥羽・志摩地域で、現在も海に潜る日々を送っています。白浜遺跡からは、大量のアワビ殻とともに約2千年前のものと推定される鹿角で出来た「アワビオコシ」と呼ばれる道具が見つかったことから、この海と海女漁との深い歴史を語り知ることが出来ます。

海女は独特の潜水技術を使い、ノミなどの簡単な道具と身一つだけで海に潜ります。ウェットスーツにメガネという現代的な装束に変わったものの、その肉体と知恵を使っている漁法は数千年前からほとんど変わっていません。

限界ぎりぎりの潜水を繰り返す際、浮上した海女の呼吸は「ビュービュー」と口笛に似た音を発します。これは「海女の磯笛」と呼ばれ、「日本の音風景100選」に認定されています。

## 海女のいる海がここに。

## 海の恵みを絶やさない知恵。



海女はアワビやサザエを中心として、他にウニやナマコ、またワカメやヒジキなどの海藻類を獲ります。この漁獲対象とする資源を持続的に維持していくため、獲り過ぎないように様々な約束事を決め、漁場を守ってきました。アワビやサザエは規定のサイズより小さいと獲ってはいけないという体長等の制限や「口開け」という出漁日を決めた制度、潜水の日数や回数、時間など様々な約束事を設けることで、次代のために海の恵みを守り、しっかりと受け継いでいく努力と工夫をしています。

## 自然への感謝。

海で漁を続けることは容易ではなく、いつも危険と隣り合わせにあることを海女たちは知っています。漁の前や一年の節目には、身体を清めて地域の神社や仏閣で祈願したり、呪文を唱えたりする海女たちの姿を見かけます。海の魔物除けのため海女の持つ手ぬぐいや道具などに



## きらり＊鳥羽人

### いつも感謝の気持ちで海女漁をしています。

海はこのまちの宝物です。「龍宮さんは一番金持ちや」といって、昔から海は大事にしないかんって聞かされてきました。本当にその通りで、海女は海の恩恵を授かって漁をさせてもらっています。

海女漁は自然が相手で、怖い思いをすることもあります。それでもアワビやサザエを見つけて獲ったときは、なんとも言いようがなく嬉しいもんです。この海女文化を継承していけるよう、私たちは普段から小さいものを採らないとか、ルールを決めて海の資源を守っています。また、若い海女も大事に育てていきたいと思っています。



interview

海女保存会 会長  
上村 照美さん



## 息づく民俗文化として。

海女の存在は、海辺の暮らしを支える仕事であるとともに、生きた文化として現代に継承されてきました。しかし、近年では高齢化や後継者不



海への感謝の気持ちを捧げることは、自身の身を守り、安全で大漁を願う気持ちとして、独自の信仰や魔除けに伝えられています。

は、星形の印「セーマン」や格子状の印「ドーマン」という印が描かれています。

足、環境問題など、海女を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。

このような中、海女文化を保存継承していくため、全国各地や韓国の海女の交流や、情報発信などの取り組みを進めてきました。平成24年度には、鳥羽市と志摩市、三重県や地域の団体により海女振興協議会が、翌平成25年度に海女保存会がそれぞれ設立され、海女漁の振興と海女文化の保存継承のための活動を実施しています。

平成26年1月には「鳥羽・志摩の海女による伝統的素潜り漁技術」が、全国で初めて県無形民俗文化財に指定され、海女漁の文化的な価値が認められました。

今後も海女が海へ潜る姿を残すこと、それは豊潤な海を象徴するわがまちの役割でもあります。

# 蒼く輝く海は、まちの宝物

緑映える山々から流れ込む川が、豊富な栄養をたつぷりと含んで海へと注ぎ、太平洋を渡る黒潮とぶつかることで、さらに豊かさを増します。鳥羽の海には岩礁が多く、海草の生育にも適しているため、様々な生命を育む海として長い歴史があります。

What Is the Sea for Us?

The Shining Blue Sea of Toba as Our Treasure

The nutrient-rich river water from the green mountains flows into the sea and becomes more and more nutritious after it meets the Kuroshio Current running across the Pacific Ocean. The sea of Toba with plenty of reefs has a long history as a fertile environment ideal for various marine organisms such as seaweed.



山から湧き出た養分を含んだ水が海へと流れ込み、太平洋の海流と混ざり合うことで、豊かな漁場がつくられてきた鳥羽の海。魚介類の絶好の生息場所となる岩礁も多く、鳥羽は古来より豊富な海に恵まれ、朝廷や神宮に海産物を捧げることを許された「御食国」として知られてきました。

遙かな時代を経た現在においても鳥羽のまちでは、たくさんの人々が海とともに生活を送っています。

港では、刺網漁や一本釣り、底びき網、海女による伝統的な素潜り漁など、多様な漁法によって捕獲された種類豊富な魚介類の水揚げ風景が見られます。そして、湾の入り組んだ地形を生かした漁港では、海苔やワカメ、牡蠣などの養殖が盛んに行われています。そこには漁師や海女たちなど、漁業を生業としている人々の活気に満ちた姿があふれています。

各地域に受け継がれている祭りや伝統行事にも、海への信仰が息づくものが多く、漁村ならではの光景を見せてくれます。

また、これらの四季折々の美しい風景と海の幸を生かした観光業なども、このまちの産業を支えています。

## 海を愛し、海と生きる。

### 郷土の誇り 真珠王・御木本幸吉。



世界の真珠王とも呼ばれた御木本幸吉も、鳥羽の海とともに生きた人物でした。

鳥羽のうどん屋の長男として生まれ、様々な商売を経験するなかで、志摩の名産品であった真珠に着目。自ら作り上げた真珠で世界中の女性を飾りたいと願い、妻うめの支えのもと、試行錯誤や失敗を繰り返しながらも、1893年（明治26年）に世界で初めて真珠の養殖を鳥羽の相島（現・ミキモト真珠島）で成功させました。幸吉の作り上げた真珠は、世界各国の博覧会に出品され、大きな注目を浴びたのです。

また、伊勢志摩の景観環境をこよなく愛し、伊勢志摩に国立公園の設置を目指す活動を行い、戦後第一号の指定に結びつけるなど、生涯をかけて郷土の発展に尽力した功績は、鳥羽の誇りとなっています。

## 大切な海を守り育む。

近年、伊勢湾の海域環境の変化から、稚魚が安心して育つための藻場の減少や干潟環境の悪化などが問題となっています。そこで、この豊かな海を守るために、人々は様々な活動を実施しています。

その一つが、アラメやアマモの苗を植え、藻場の再生を行う取り組みです。この活動には漁業者のほか、地元の小中学生が総合授業の一環として参加し、子どもたちが身近な環境問題を知り、漁業者と交流する機会にもつながっています。

その他にも、海岸に流れ着く漂着ゴミの清掃と、それを活用した流木アートをつくる活動など、様々な団体が海の環境問題に取り組んでいます。



また、特産である牡蠣の殻を加工したケアシェルの開発により、浦村町では全国的にも珍しいアサリの養殖に取り組んでいます。この新たな取り組みには、水質や土壌の改良効果も期待されています。

このように鳥羽の人々は、古くから感謝と畏敬の念を抱きながら、海とともに生きてきました。そして、今もその心は変わらずに受け継がれています。

### きらり＊鳥羽人

#### 豊かな鳥羽の海は 本当にありがたい。

浦村でカキ養殖をしています。夏の空いた時期に、カキ殻を加工して固形物にしたケアシェルというものを利用した新しいアサリ養殖に取り組んでいます。

最近では、浜が酸性に傾いて全国的にもアサリが減少しているんですが、実はアサリがいなくなったのではなく、酸性化で稚貝が育っていないだけなんです。ですので、適度なアルカリ分を含むケアシェルを使って、アサリの育つ環境をつくり、アサリの養殖につなげています。

鳥羽の海はたくさんの魚介類を育ててくれますし、海に行けば何か仕事がある状態なので、本当にありがたいなあと常日頃から思っています。



Interview  
浦村アサリ研究会 代表  
浅尾 大輔さん

# 海に寄り添う、 人々の知恵

遠い昔から海とともに生きてきた鳥羽の人々。  
目の前に広がる鳥羽の海に思いを馳せ、  
真珠養殖に成功という世界初の快挙を成し遂げた  
御木本幸吉をはじめ、このまちで暮らす人々の心には  
その恩恵を生かす知恵が受け継がれています。



Life with the Sea  
Human Wisdom to Live in Harmony with the Sea  
Here in Toba, we have lived in harmony with the sea since very early times. Kokichi Mikimoto, for instance, loved the sea of Toba so much that he ended up succeeding marvelously in pearl cultivation for the first time in the world. Just like him, people living in Toba have definitely inherited the wisdom to take advantage of the abundant gifts from nature.





鳥羽湾沖に浮かぶ4つの島。  
かつて、その1つである神島を訪れた三島由紀夫は、川端康成に宛てた書簡で「ここには本当の人間の生活がありさうです。」と書いています。  
それから60年余りが経過した今もなお、この島には独自の文化と自然景観が残され、島を訪れる人々をどこかノスタルジーな世界へと引き入れてくれます。  
市営定期船を降りて、島へ一歩足を踏み入れると、潮風の香りが心地よく頬をなで、魚や海藻がいたるところに干され、網を繕う漁師や、日向ぼっこをしながら談笑するお年寄りの姿があります。  
家々が密集し、迷路のような細い路地を歩けば、どこからか楽しい気な話し声や、食事の支度をする音が聴こえてきます。

## 何もかも純粋な島々。



## 信仰の始まりは自然への敬意。

離島へ行き来するのは船が唯一の交通手段。台風になれば船は欠航し、海が荒れれば漁は休みになります。必然と天候に左右される島のくらしで、島の人々は自然に対して深い信仰心を持っています。島を歩けば、神社や寺はもちろんのこと、道端のどんな小さな祠もきれいに手入れがされています。  
そして、集落の氏神を祀り、大漁祈願や海での安全を願う、歴史の古い風習や祭りが今も脈々と引き継がれています。

## 島の人々の絆。

島では、祭りや風習を引き継いでいく中で、世代を超えた地域の絆が固く結ばれています。  
答志島に残る「寝屋子制度」は、

## きらり＊鳥羽人

### 島の魅力はやっぱり人との触れ合いですね。

離島には、そこに住む人とのふれあいといいますが、何気ないおしゃべりであるとか、普段、島の人たちが食べている食事・生活・文化、そういうものに魅力があると思うんです。

また、島ごとに違う伝統や独特の文化がそのまま残っていたり、それぞれの集落で言葉や風習、顔つきが違ったり、触れ合うほど魅力は増していきます。お祭りも都会ではイベント化されていきますが、ここでは大漁祈願や漁業に携わる人の安全祈願など、祭事本来の意味合いが大切に受け継がれています。この昔と変わらないことを続けていくのが、ものすごく大事であり、それが離島の良さなんだと感じています。



Interview  
島の旅社 事務局長  
やまもと かなこ  
山本 加奈子さん



また、島の魅力を知り尽くした地元ガイドによるツアーが人気を呼んでおり、人々の温かさや、ものの良さを求め、多くの人々が島を訪れています。

中学を卒業した男子数名が寝屋子として、寝屋親が預かって世話をし、生涯にわたって家族同然の付き合いをする制度で、島の人々の絆の強さを象徴する最たるものといえるでしょう。  
血のつながりはなくとも助け合い、支えあう懐の深さが、島には根づいています。

## これまでも、これからも。

2012年（平成24年）には鳥羽市と島の人々で、残していきたい島の魅力を「島遺産100選」として選定し、登録しました。  
この「島遺産100選」については、ガイドブックを作成し、地元への周知や市外へのPRに活用し、島の魅力を伝えていきます。

また、4つの島が連携し、各島の魅力を高め、発信していくため、各島の若者たちが集まり「島むすび会議」が結成され、それぞれの島自慢の食材を使ったおむすびの開発や、島のガイド研修など、島の魅力を発信する「島むすびプロジェクト」の取り組みが進められています。

# 固有の自然と文化、人々の絆

鳥羽市の4つの有人離島、神島・答志島・菅島・坂手島。  
古くから海と向き合いながら、独自の文化を育んできたこの場所には、離島ならではのゆったりとした時間が流れ、訪れた人を懐かしい気持ちにさせてくれます。



Learning about the Islands of Toba  
Nature, Culture and Human Bonding Unique to Toba

Toba has four inhabited islands, namely, Kamishima, Toshijima, Sugashima and Sakatejima. Their residents have lived by the sea and developed their own culture since ancient times. The slow-paced lifestyle and relaxing atmosphere of those islands will surely give you a feeling of nostalgia even on your first visit there.





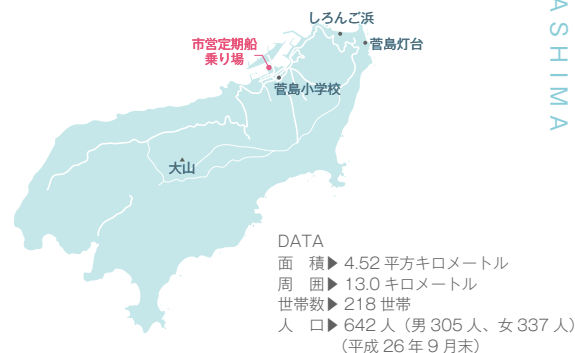
菅島灯台（日本の灯台 50 選）



島っ子ガイド



伊勢えびの開き干し



# 菅島

SUGASHIMA

雄大な自然美に憩える風の島

鳥羽港の東約 3 km の沖合に浮かぶ菅島。標高 237 m の大山を中心に島全体が山地となっており、山頂からは本土や鳥羽湾に浮かぶ島々のほか、雄大な海景を望めます。また、真冬に山頂を真っ赤に染める紅ツゲの美しい紅葉も魅力的です。

漁港周辺ではワカメやアジなどの海藻や魚介を干す素朴な風景が見られ、潮風と日光の恵みによって旨味を増す漁村ならではの干物文化が根付いています。島を一周する近畿自然歩道沿いには、伊勢志摩を代表する海女の祭り「しろんご祭」が催されるしろんご浜や、現存する日本最古の円形レンガ造りの菅島灯台などのスポットが点在。その他にも、菅島小学校の児童が島を案内する「島っ子ガイド」が、島の観光を盛り上げています。



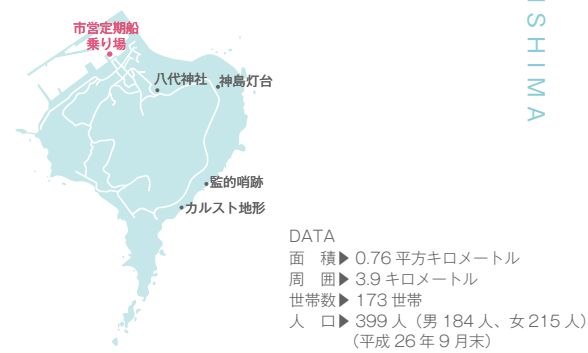
神島灯台（日本の灯台 50 選）



監的哨跡



カルスト地形



# 神島

KAMISHIMA

「潮騒」の舞台となったネイチャーアイランド

鳥羽港の北東約 14 km の海上に浮かぶ神島。日本で唯一の渡りをする蝶であるアサギマダラや鷹の一種であるサシバが渡りに訪れるほか、長い年月をかけて石灰岩が風化してできたカルスト地形が広がるなど、固有の自然環境が残されています。

主な産業は漁業であり、伊良湖水道など潮流が速い漁場で育ったタコや鯛、伊勢えびなどは市場でも高い評価を得ています。作家・三島由紀夫が書いた小説「潮騒」の舞台としても知られ、島全体が恋人の聖地に登録されています。

その他、一年の家の安全や大漁を祈願する八代神社の祭礼であるゲーター祭は、県の無形民俗文化財に指定されています。

# 答志島

TOSHIJIMA

豊かな海の幸と歴史ロマンに彩られた島

鳥羽港の北東約 2.5 km の沖合に浮かぶ答志島。古代には志摩国答志郡の役所も置かれ、栄えていました。縄文時代から古墳時代の遺跡が点在し、戦国時代に活躍した武将・九鬼嘉隆の首塚と胴塚の史跡も残っています。

島の周囲は潮流が速く、外洋と伊勢湾を行き来する魚が絶えないことから、島人口の約 8 割が漁業に従事。答志・和具・桃取と 3 つある集落にはそれぞれに漁港や魚市場があり、冬に和具浦漁港で行われる塩蔵ワカメ作りの風景は、環境省が認定する「かおり風景 100 選」に選ばれています。

その他、海上安全や大漁を祈願する祭りや、一定年齢に達した男子数名を寝屋親が預かり世話をする「寝屋子制度」など、古くからの伝統、慣習も色濃く受け継がれています。



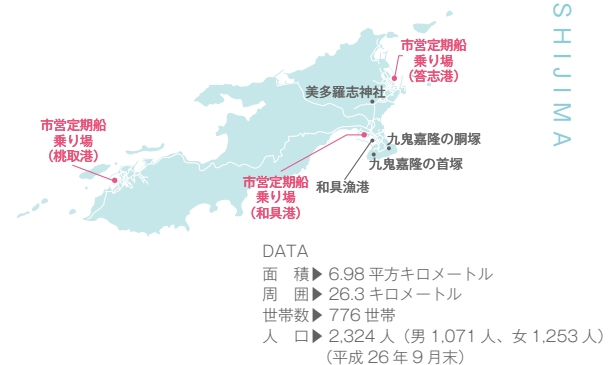
塩蔵ワカメ作りの風景（かおり風景 100 選）



美多羅志神社の「龍神さん」



九鬼嘉隆の首塚



# 坂手島

SAKATEJIMA

天照大神ゆかりの皇女も愛でた風光明媚な島

鳥羽港の対岸 0.6 km の沖合に浮かぶ坂手島。伊勢の地に天照大神を祀った皇女・倭姫命の伝説を記した「倭姫命世記」にも佐加太岐嶋として登場します。この島には、倭姫命が都から持ってきたアヤメを植えたと伝えられるアヤメ池が市の天然記念物となっており、初夏にはカキツバタが咲き誇り、島の風物詩となっています。

今は本土に勤める人が多いですが、かつては漁業が盛んで一本釣り漁で知られ、南部に集まる集落では、段々状に家々が連なる漁村特有の地形を見ることが出来ます。

また、江戸川乱歩の妻、村上隆の生家「村万商店」が残されており、集落の奥に佇む若宮神社の伝統行事「棒ねり」は市の無形民俗文化財に指定されています。



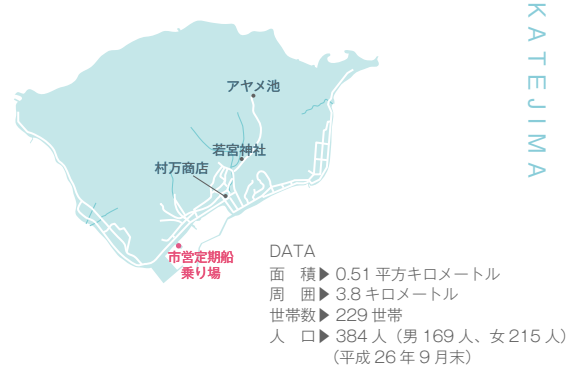
若宮神社



アヤメ池



村万商店（村上隆の生家）

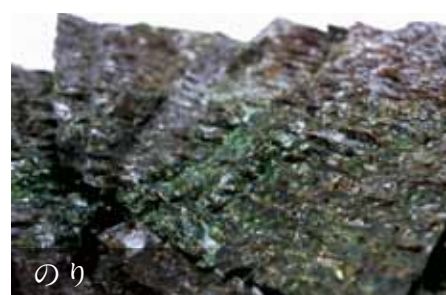






## 鳥羽料理人弁当

鳥羽市観光協会が認定するお弁当。腕利きの料理人が、魚介類や海藻など鳥羽の新鮮な食材を贅沢に使った本格派弁当です。



美容、健康によい栄養を豊富に含む、鳥羽の海藻の魅力を広めていくため、豊かな鳥羽の海で採れる海藻を「七草」になぞらえて「真珠の海七草」と名付けました。



日本の祝い魚（鯛・鮑・伊勢えび）

祝いの席には欠かせない魚の王様「鯛」、伊勢神宮に神饌として献上される「鮑」、長寿の喜びのシンボル「伊勢えび」の三種を本市では「日本の祝い魚」と名付け、発信しています。

## きらり＊鳥羽人

### 食材そのものの味を楽しんでいただきたい。

鳥羽の魅力的なところは、伊勢えびやアワビなど、海の幸がすぐに手に入るということです。その日の朝に水揚げされた魚介類が、朝のうちに私たち料理人のところに入って来るわけですから、お客様に本当に新鮮な食材が提供できるんです。

そのために私たち料理人も、食材が持つ旨味を引き出しつつ、本来の味が出やすい薄味で調理したものを提供できるよう常日頃から会合等を開いて勉強をしています。

一人ひとり違う味覚をもったお客様に対して、いかに満足していただける料理が提供できるかを課題に、これからも鳥羽でとれる旬の食材をお客様にお届けしていきます。



interview  
鳥羽料理研究三重三科会 会長  
松浦 貞勝さん



## 鳥羽弁当

鳥羽の豊富でおいしい食材を、海岸沿いのベンチや公園、帰路など、さまざまな場所でロケーションを選ばず、多くの方に味わってもらいたいとの思いから企画・開発されました。



## とばーがー

地元の牡蠣やタコ、ちりめんじゃこなど、地元の食材を使った鳥羽のご当地バーガー。地元で獲れた食材を使うこと、注文を受けてから販売すること、市内で販売することを条件に、認定店で提供されています。

Delightful Delicacies  
Natural Blessings Served as  
Our Specialties

Fishermen and ama divers of Toba deliver just exquisite seafood from the nutrient-rich sea of Toba. In addition, the appealing food culture of Toba has been advertised through the creation of a variety of ingenious gourmet foods.

漁師や海女たちが、  
恵み豊かな海から届けてくれる食材は、  
最上級のものばかり。  
鳥羽の食の魅力を発信するために、  
工夫を凝らしたグルメも生み出されています。



# 秋



## 二船まつり 11月

海士潜女神社の祭礼として行われる神事で、二隻の船に別れて速さを競い合い、その年の豊漁を占います。「万度迎え」「御船作り」「競漕神事」と三日間にわかれて行われます。

## 鳥羽魚魚まつり 10月

「魚」をテーマにした調理人とお客様をつなぐイベントです。地元の板前による魚の早さばき、海鮮汁や刺身の振る舞い、海鮮販売などが行われます。



## 八幡祭 2月

男たちが護符にかわる墨を奪い合う答志島の八幡神社の祭礼。この墨で人々は家の戸口や船に「丸に八の字」を書いて、1年の大漁と家内安全を祈願します。



## 真珠婚式 (2月と12月を除く) 毎月30日

結婚30周年である「真珠婚」を、御木本幸吉が世界で初めて真珠養殖を成功させた鳥羽の地で祝うため、結婚30周年を迎えるご夫婦を対象に、市内ホテルのチャペルで真珠婚式を開催しています。

# 冬



## ゲーター祭 1月

元旦の未明に神島の八代神社で行われる神事で、太陽をかたどったアワと呼ばれる白い輪を、島の男たちが竹で突き上げ落とし、諸悪を祓い、平穏無事な新年を願います。

## 浦村牡蠣の国まつり 2月



牡蠣養殖の本場である浦村町で、浦村牡蠣のPRを兼ねて開催されるイベント。美味しい浦村牡蠣を多くのかたに食べていただきたいという思いから開いています。

## 御船祭 2月



青峯山正福寺で行われる海上安全を祈願する祭り。境内には全国の漁業、海事関係者から奉納された大漁旗がはためき、多くの参拝者でにぎわいます。

## しろんご祭 7月

昔島の守護神である白髭大明神を奉り、大漁・豊漁と海上安全を祈願する海女の祭り。海女たちがアワビの初採りを競い合います。



## 鳥羽春まつり 4月

400年近く連綿と続く大山祇神社と賀多神社の祭礼。天狗と獅子の舞や能楽の奉納などで、鳥羽に春の訪れを告げます。



## 赤崎祭り 6月

伊勢神宮・外宮の末社である赤崎神社の祭り。多くの参拝者が浴衣を着て参拝することから「ゆかた祭り」とも言われています。



## 相差天王くじら祭 7月

大小の鯨御輿が相差音頭の手踊りとともに相差町内を練り歩いた後、海上に浮かべられます。夜には花火大会も行われます。

## 石神さん春まつり 5月

「女性の願いなら一つは叶えてくれる」といわれる神明神社の石神さん。海女の大漁祈願と大願成就を願う祭りです。



## しろやま嘉隆まつり 4月

鳥羽城跡のしろやま公園にて、桜の花見・町の芸能・食を楽しむイベントです。九鬼嘉隆ゆかりの武者行列や鉄砲隊の一斉発砲などにぎわいます。

# 春

# 夏



## 鳥羽みなとまつり 7月

讃岐金刀比羅宮鳥羽分社の祭り。鳥羽湾を中心に行われる夏の祭典でもあり、盛大な海上花火や海上パレードなど多彩なイベントが行われます。

# 受け継がれる熱い心 歴史を誇る伝統文化

古くから海の神々への信仰が厚かった鳥羽の地。受け継がれてきた伝統行事のほか、新たなイベントも催されており、多くの人々が盛り上がりを見せるなかで、しっかりと絆が育まれています。

Our Spiritual Inheritance  
Our Traditional Culture with a Long History and Great Passion Inherited from Generation to Generation  
Since olden days, Toba has been a place with people having profound faith in the deities of the sea. Not only traditional but also modern events take place, and many of the participants enjoy themselves and then strengthen bonds with one another.

## きらり＊鳥羽人

### 人生の節目のお祝いとして真珠婚式を挙げました。

最初は「今さらウエディングドレスなんて」という気恥ずかしさがありましたが、今は式が挙げられて良かったなと思っています。チャペルでの合同結婚式でしたが、結婚して30年、夫婦お互いの気持ちを改めて見直すいいきっかけになりましたし、子どもたちが嬉しそうに式のお手伝いをしてくれて、本当に記念になりました。

真珠婚式の魅力は、何といても気軽に参加できることです。自前の服装でも参加できますし、事前に申請しておけばドレスも選べ、当日は美容師さんが髪をきちんとセットしてくれます。人生の節目のお祝いとして、皆さんにおすすめしたいです。



### interview

真珠婚の夫婦  
松本 智さん、明枝さん





鳥羽は、多くの文人をひきつけ、数々の文学の舞台ともなったまちです。鳥羽市街の大里通り沿いにある鳥羽みなとまち文学館は、画家・風俗研究家であった岩田準一の生家を改築した資料館となっています。

鳥羽市に生まれた岩田準一は、大正ロマンを代表する画家 竹久夢二に師事し、夢二の代作を務めていました。また、その岩田準一の絵を、挿絵として使っていたのが推理小説家として今なお人気の作家 江戸川乱歩です。乱歩は三重県名張市出身ですが、鳥羽造船所で働くために鳥羽に移住し、生涯の伴侶となる隆（坂手島出身）とも出会っています。

文学館には、準一の絵画や研究資料だけでなく、交流の深かった乱歩や夢二との書簡などが展示されています。

## 「鳥羽みなとまち文学館」

アートと文学の香り

## 「伊良子清白邸」

凛とした佇まい



明治から昭和初期まで活躍した詩人で、生涯唯一の詩集「孔雀船」が明治の傑作の一つと評される伊良子清白。鳥取県に生まれ、明治詩壇の鬼才と言われ全国を漂泊した清白ですが、医師としての顔も持ち、1922年（大正11年）から約23年間にわたり鳥羽小浜の診療所へ赴任。その後も村医を努めながら、短歌雑誌「白鳥」に従事し、地域の文学活動の指導を続けました。現在、小浜町の八幡神社への小道の傍らには清白の詩碑が佇み、清白が過ごした小浜の診療所は鳥羽駅近くに移築され、「伊良子清白の家」として公開されています。

## 「門野幾之進記念館」

俊才の足跡をたどる

1856年（安政3年）に鳥羽市で生まれた門野幾之進。幼少期から西洋の学問を学び、13歳で東京の慶応義塾に入塾。わずか2年後には英語教師となり、その俊才ぶりを発揮したそうです。福沢諭吉の信頼

## きらり＊鳥羽人

### いい思い出をつくって また鳥羽に訪れてほしい。

鳥羽のまちには観光地として数々の名所がありますが、歴史文化に焦点を当ててみると、歴史上重要な役割を果たした偉人がいたことや、船が交通の主流だった時代には、鳥羽の港街が海上交通の要衝として栄えていたなど、今の鳥羽観光の基盤となっている要素がたくさん残されています。

私たちは、そんな歴史文化を中心にガイドを行っており、ガイドを受けられるお客様が、何のために鳥羽へ訪れているのかを会話の中でつかみ、またこの場所へ訪れたいと思ってもらえるよう、おもてなしの心を持って鳥羽の魅力を案内させてもらっています。



Interview  
鳥羽ガイドボランティアの会 会長  
徳田 亨さん

## 旧家の雰囲気漂う 「大庄屋かどや」

切妻造の美しい町屋は、旧廣野家住宅で国が登録する有形文化財で

も厚く、27歳の若さで教頭に就任、1890年（明治23年）の大学部発足にも尽力しました。

その後は実業家に転じ、1904年（明治37年）には千代田生命保険相互会社を創立。それを皮切りに、保険会社を次々に創立し、多大な功績を残しました。

現在、幾之進ゆかりの資料は「門野幾之進記念館」で展示されています。



す。廣野家は、かどやと呼ばれる鳥羽随一の財産家で、数ある庄屋を取り仕切る大庄屋を務めていました。

現在は明治期の姿に復元され、観光客や市民の集いの場として利用されています。また、室内には色ガラスの欄間や古い民具、国産最古の長尾オルガンなど、貴重な民俗資料が残されています。

# 夢と希望を ふくらませた 偉人たち

きらり 歴史を訪ねる

Visit to Historical Sites  
Toba's Great Figures with Big Dreams and Hopes  
Toba was home to some great historical figures including feudal warlords, poets and business people. They fully lived their own lives, and their achievements definitely contributed a lot to enriching the history of Toba.

## 九鬼水軍を率いた 水軍武將と居城跡

天下統一をめざす織田信長に仕えた戦国武將 九鬼嘉隆。海上戦術に長けた嘉隆は「水軍の将」とも呼ばれ、石山本願寺攻めでは鉄甲船を造り出し、瀬戸内海で猛威を奮っていた毛利水軍に大勝しています。信長亡き後は豊臣秀吉に仕え、1594年（文禄3年）には鳥羽城に居城し、九鬼水軍の本拠としました。その後も朝鮮出兵などで戦果を挙げました。



戦国武將に小説家、詩人、実業家など、時代を駆け抜けるように、鳥羽に生きた偉人たち。その功績は、まちの歴史を培う上で、確かな礎になっています。

が、天下分け目の関が原の戦いでは西軍に属して敗北。答志島へと逃れたのちに、嘉隆は自決への道を辿りました。

鳥羽城は、明治に入り廃藩置県の発令で廃城となりましたが、全国的にもめずらしい大手門が海側へ突出して築かれた鳥羽城は、「鳥羽の浮城」とも呼ばれていました。また、現在も残る石垣の跡には、戦に明け暮れた嘉隆の勇姿が浮かび上がります。







鳥羽温泉郷  
Toba-Onsengo



鳥羽マルシェ  
Toba Marché (market and restaurant)



カモメの散歩道  
Kamome-no-Sampomichi Promenade



干す風景  
Dried seafood hung from poles



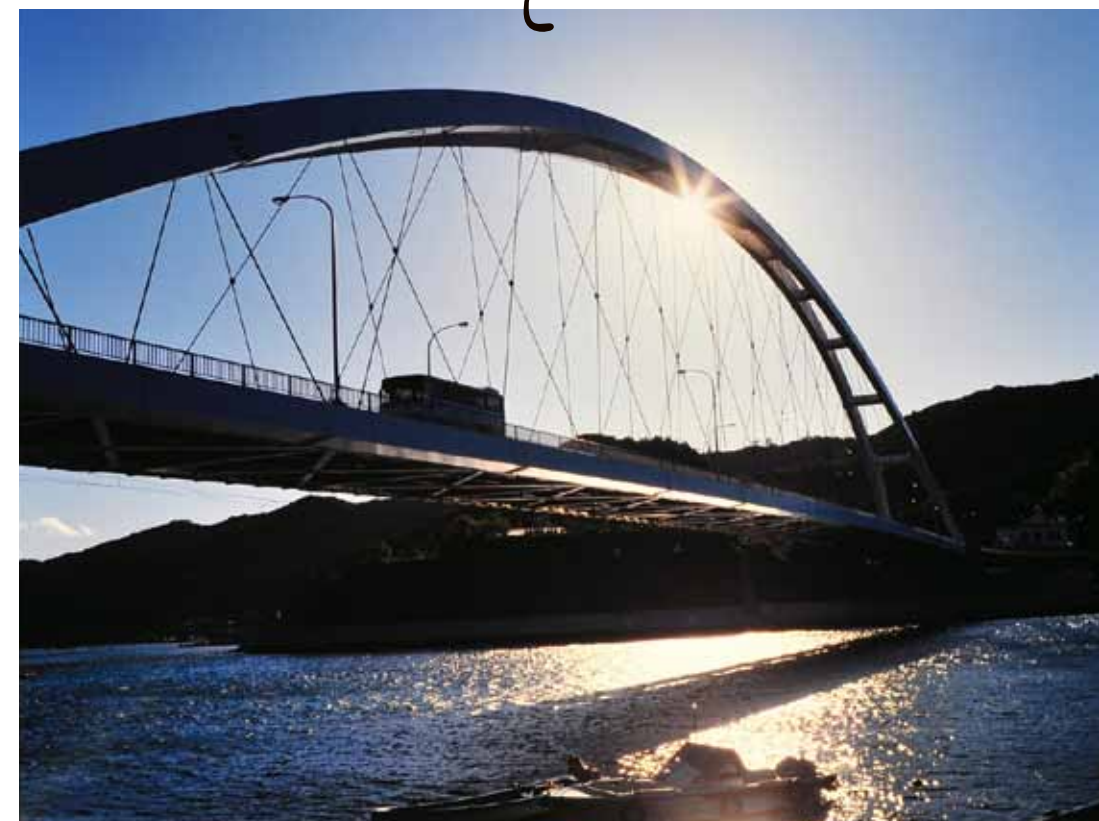
三ツ島  
Three islands called "Mitsushima"



鳥羽を巡る旅

# 海辺のまち、 輝く風景を探して

国際観光文化都市であるとともに、  
市全体が伊勢志摩国立公園である鳥羽市には、  
訪れた人々を魅了するスポットが  
数多く点在しています。



麻生の浦大橋  
Great Onoura Bridge

## Tours around Toba

### In Search of Beautiful Spots at the Shining Sea

Not only is Toba an international tourist city with rich culture, but its whole area is also part of Ise-Shima National Park. That is why it has so many good tourist spots which attract visitors from other parts of Japan and the world.





鳥羽城跡  
Ruins of Toba Castle



ミキモト真珠島  
Mikimoto Pearl Island



石神さん  
Ishigami-san (Shimmei Jinja shrine)



伊勢湾フェリー  
Isewan Ferry



海女小屋  
Amagoya (huts of ama divers)



千鳥ヶ浜  
Chidorigahama



鳥羽水族館  
Toba Aquarium



海の博物館  
Sea-Folk museum



イルカ島  
Dolphin Island



鳥羽マリンターミナル  
Toba Marine Terminal



# 小さくても真珠のように きらりと輝く鳥羽<sup>まち</sup>を目指して

昭和29年11月1日に1町7村が合併し、平成26年で鳥羽市は市制施行60周年を迎えました。

三重県の東端部に位置する鳥羽市には、4つの有人離島やリアス式海岸がありなす美しい景観とともに、歴史あるまちの中に人々の営みが息づいており、国際観光文化都市として毎年、多くの観光客の皆さんに楽しんでいただいております。

現在、鳥羽市では、第五次総合計画の将来都市像である「真珠のよう

にきらり輝く鳥羽（まち）」の実現に向けた取り組みを進めています。

これから、より多くの人が訪れ、住むことに誇りを持つていただけるまちづくりを目指し、地域と一体となって頑張っていけますので、今後ともお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

鳥羽市長

木田 久圭一

What the Future of Toba Will Be Like?  
Work Together to Make Our City  
Shine Like Small but Resplendent  
Pearls.

For Toba City, the year 2014 is the 60th anniversary of its municipalization; its history started when one town and seven villages merged into a new city on November 1, 1954. Toba is located at the east end of Mie Prefecture and blessed with a long history, energetic people as well as beautiful nature including the four inhabited islands and rias.

We welcome a great number of tourists with our hospitality as an international tourist city with rich culture, and are now trying to "make our city shine more like pearls" in the future based on our Fifth Comprehensive City Plan.

In partnership with local communities, we will keep on working hard to attract more and more tourists from all over the world and give our residents a sense of pride as members of the city. We deeply appreciate your support and cooperation.

Kusuichi Kida  
Mayor of Toba City



## 鳥羽のここが スキ！

まちで暮らす人々に、鳥羽の魅力を聞きました。  
ふるさとへの愛がつまった「スキ！」が、  
これからもっと広がるように、未来に輝くまちづくりを進めています。



## 鳥羽市シティプロモーション



人口減少対策の一環として若者世代を応援する「子育て支援」や「定住促進」に関する施策や、観光振興、ふるさと納税など鳥羽市の特色ある施策について、市内の人々に知っていただくため、様々な媒体を活用し、広報活動を行っています。

### ●ふるさと納税

寄付をしていただいたかたへは、市内宿泊施設利用券や旬の海産物など鳥羽市ならではの贈答品を提供しています。



まちの声を聞く  
TOBA'S SWITCH

### とても役立つ ベビー向け講座

鳥羽市が開催している「とばっ子ハッピーセミナー」に参加して、子どもと一緒に楽しい時間を過ごしています。セミナーでは、子どもとの接し方や、日常の中で運動しながら子どもと遊べる様々な事が学べたり、同世代の子どもを持つお母さんとの交流をもてたりと、とても役に立っています。



とばっ子ハッピーセミナー事業  
参加者 山本 絵美さん



鳥羽市のまちづくり  
定住・子育て  
の支援

## 魅力あるまちづくりのために



### とばっ子の成長を 応援

市内各所で割引等のサービスが受けられるとばっ子カード、赤ちゃんの授乳関連用品や衛生用品・チャイルドシート等を購入する際に利用できるとばっ子子育て応援券を配布しています。



### 子育て家庭を支援

2人目以降の保育料の無料化や義務教育修了期間までの医療費の全額無料化、高校生の通学費・下宿費の助成など、安心して子育てができるよう経済的負担の軽減を図っています。



### 定住応援事業奨励金

次世代を担う若者たちが、安心して家を建て、住み続けることのできる魅力あるまちになるよう、新築住宅や中古住宅、市有地を購入した若者・若者夫婦を応援する取り組みとして、奨励金の交付を行っています。

**若者と子育て家庭が  
住み良い環境をめざして**

全国的に少子高齢化が進むなか、鳥羽市では次世代を担う若者たちが定住をしたいと思います。まちになるよう、様々な取り組みを行っています。

若者をはじめとする市外への人口流出や婚姻率の低下が見られるため、若者の住宅や土地取得を支援し、出逢いの機会を創出しています。

また、鳥羽市への移住希望者の受け入れ体制の整備を検討しています。

さらに、子育て家庭を地域で支えるため、休日保育などの保育サ―



ビスメニューの充実や子育て支援センターの設置を行っています。ほかにも、家庭児童相談員、児童心理士による総合子ども相談や発達巡回相談などを実施して、子育て家庭の住民が心身ともに健やかに成長していけるよう取り組んでいます。

全国的に進む少子高齢化の問題に立ち向かうべく、鳥羽市では誰もが定住しやすい環境をつくるとともに次世代を担う子どもや若者たちの暮らしを、まち全体で支援できる政策に取り組んでいます。

# 若者の暮らしが 輝くまちへ

Support for Stable Life and Child-raising in Toba  
Help Young Generations to Make Their Lives Shine.

We take measures to solve the problems caused by the falling birth rate and the aging population which Japan faces today by making a better environment for all residents in Toba and supporting the lives of children and young people for the future of theirs and the city.





「生きる」から「活きる」へ。  
将来を担う人材を育成する「地球塾」



鳥羽市では高校生以上を対象に、世界の真珠王御木本幸吉翁が残した言葉（語録）をテーマに、郷土の未来を考える人材育成講座「地球塾」を開講しています。

多様化した社会情勢に対応し、地域特性を生かした創造的・独創的な地域づくりを推進するために、豊かな発想や広い視野をもった21世紀の郷土を担う人材とリーダーを育成するとともに、地域の中核となる人材のネットワークを構築することを目的としています。



まちの声を聞く  
TOBA'S SWITCH

## 生涯学習講座が 交流の場に

鳥羽市で開かれている「生涯学習講座」の陶芸やポリマークレイなど、自分の趣味や興味のある講座に参加させてもらっています。講座に参加して、一つひとつの作品が出来上がっていく楽しみや、趣味の世界や人との交流が広がっていく喜びなどを実感しています。



生涯学習講座受講生  
石井 千恵子さん



鳥羽市のまちづくり  
教育・人材育成  
の推進

## 魅力あるまちづくりのために



### 市民大運動会

体育の日の記念行事として昭和41年に始まった運動会。健全で明るく豊かで住みよい鳥羽市を作るために、毎年市民が一同に集い、様々な競技を通じて多世代交流を図っています。



### 市民文化祭

市民が芸能・文化に身近に触れられるよう開催される文化祭。地域に密着した文化財や伝統文化といった遺産を学び、後世に伝え残していくための機会を設けています。



### 子どもたちに 体験・学習の場を提供

親子風作り教室や子どもフェスティバル、天体観測など、スポーツ・ゲーム・もの作りを通して、子どもたちが体験しながら楽しく学習できる場を提供しています。

**市民が積極的に活動する  
地域社会を構築**

子どもの豊かな心や生きる力を育むために、小中学校では学校・家庭・地域の連携を強化しながら、児童生徒の学習意欲を引き出せる環境・教材・備品の整備や、地域の声を積極的に取り入れた学校教育を推進しています。

また、南海トラフ地震に備え、防災教育の充実とともに、子どもたちの安全性が確保された学習環境の整備に取り組んでいます。

このほか、市民一人ひとりの生き



がいつくりや健康・体力づくりのために、知識・技術の習得などを支援する生涯学習機会の提供、誰もが気軽に楽しみながら参加できるスポーツイベントやスポーツ教室の開催、運動施設等の改修、スポーツ指導者の育成などを進め、生活に潤いとゆとりを感じる社会を目指しています。

まちづくりの原動力となる子どもたちが安心して学習でき、健全な心と体が育つようまた、市民一人ひとりが楽しみながら暮らせるよう快適な環境づくりを進めています。

# 生きる力を 育むまちへ



Promotion of Education and Human Resource Development  
Give People the Skills to Live Well.

We promote our policies to create a more comfortable environment for all our citizens so that they can fully enjoy their lives and their children can learn and get physically and mentally trained without anxiety for the future of themselves and the city.



## へき地・離島の医療を支援



鳥羽市では、市街地から離れた場所にある地域や離島にも診療所を設置し、市民がいつでも安心して受診できる医療体制を整備しています。現在、本土に長岡診療所、鏡浦診療所、鏡浦診療所石鏡および今浦分室を、離島では神島、菅島、桃取、坂手町に診療所を開設し、県、関係機関等の協力のもと医師を確保し運営を行っています。

### ●三重県ドクターヘリの導入で救命率を向上

重症患者の救命率の向上や後遺症の軽減を図るため、三重大学医学部付属病院と伊勢赤十字病院の2病院を基地病院とし、高度な医療機器を装備したヘリコプターによる救急搬送を導入・運航しています。



まちの声を聞く  
TOBA'S SWITCH

## 外出する楽しみが増えました

70歳以上の鳥羽市民に交付される「いきいきお出かけ券」を活用しています。私は、市内を走っている「かもめバス」の回数券をいただきました。おかげで小銭を用意する手間がはぶけ、気軽に乗れるようになったので、出かける回数が増えました。この取り組みは本当にありがたいですね。



いきいきお出かけ券利用者  
三浦 利津子さん



鳥羽市のまちづくり  
福祉・医療  
の充実

# 活動に喜びを 感じるまちへ

市民一人ひとりが健康づくりに対する意識を高め、高齢者や障がい者が安心して暮らしていけるよう、公的サービスやボランティア支援を充実させ、地域全体で支え合うまちを目指しています。

## 健康で生きがいに満ちた 暮らしづくりのために

鳥羽市では、市民が健康に暮らせるよう、健康相談の充実や特定健康診査の受診率の向上、生活習慣病予防及び疾病の予防・早期発見につながる支援に積極的に取り組んでいます。

さらに、地域づくり活動や福祉ボランティア活動など、地域福祉に関わる活動を支援するとともに、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯のかたたちが、住み慣れた地域での生活が続けられるよう、配食や移動

手段の確保などの充実した福祉サービスや、地域包括支援センターを中心とした高齢者見守り体制の強化を進めています。

このように、市民一人ひとりが安心して暮らせる社会を構築するために、市では保健・医療・福祉のネットワークを形成し、隣近所、世代間、地域間など、様々な人が共に助け合えるまちづくりを目指しています。



Enhancement of Welfare and Medical Services  
Make People Happy with the Spirit of Mutual Support.

We aim to improve the quality of public services and encourage volunteerism for mutual support within the city in order that all our citizens will increase their health awareness and the elderly and disabled can feel secure about their daily lives.

## 魅力あるまちづくりのために

### ウォーキングで 健康意識を啓発

市民の健康の維持・増進を図るため、ウォーキングをサポートする事業の実施や、各地域でウォーキングに関するイベントを開催し、健康意識に対する啓発を行っています。



### 高齢者の生活を支援

高齢者のかたたちが、住み慣れた地域でいつまでも自分らしく自立した生活を過ごせるように、保健師・社会福祉士などの専門職員を配置。様々な面から総合的に支援しています。



### 障がい者の活動を支援

障がいがある人でも自立した生活ができるまちにするために、気軽に相談できる支援体制の充実や、障がい者が活動できる場所・働く場所の確保に取り組んでいます。





## 地域資源の活用を支援

豊富な海の幸はもちろん、人々の営みや歴史文化といった地域資源を掘り起こし、磨きをかけて情報発信していくことで、まちの魅力の向上と個性の光る観光地づくりにつなげられるように取り組みを進めています。

### ●食の魅力を情報発信

新鮮な農水産物を加工し、地域にある背後ストーリーと絡めて商品化しようという動きが広がってきています。鳥羽らしい商品の開発と新たな販路の開拓は、雇用の創出と、地域の魅力の発信につながることを期待されます。



### ●新たな分野での可能性

海藻などの水産資源を「健康」「美」などの切り口での魅力づくりにつなげるため、旅館の女将さん達とともに海藻、真珠成分等を配合したオリジナル化粧品を開発しました。地域資源の新たな分野での活用促進と観光地のおもてなし充実を目指しています。



鳥羽市のまちづくり  
産業振興・雇用の確保

## 魅力あるまちづくりのために



### 水産物の高付加価値化を推進

新たな漁業技術や生産手法を導入し、漁業種類の多角化や漁業生産の向上に取り組む漁業者グループの支援や、海藻の新規養殖技術を研究し、漁業者への普及定着を図ることにより、経営の安定化及び水産物の高付加価値化を目指す取り組みを行っています。



### 地元で仕事ができる体制づくりを推進

地元での就業機会拡大のため、企業誘致を進めるとともに、地元の働き手を求める情報を容易に得られるよう、ハローワーク求人情報が閲覧できる拠点を整備しています。また、起業セミナーを実施し、新たな創業を支援しています。



### 「森と海・きずな事業」を計画・実施

森林を整備し守ることにより、森林内の土壌に含まれる多くのミネラルが川を通じて海に流れ込み、海況環境の向上につながると考えています。間伐等による森林整備と森林資源の利活用に積極的に取り組んでいます。

## 地域産業を活性化し 若者の就職・起業を支援

情報通信手段や物流・流通網の発達により、地方と都市部の格差が縮まり、ビジネスチャンスが拡大してきていることから、本市でも、地場産業の再興と新たな挑戦を支援しています。

多くの若者が地元で働き、地域の担い手となることができるよう、市内でのインターンシップ促進や雇用情報を入手しやすい環境の整備に努めています。

また、技能の向上にかかる各種講習等の開催支援や新たな創業に向け

鳥羽市の将来を担う若者が自信と誇りを持って地元で活躍できるよう、地域産物の生産・活用支援や起業・技能習得にかかる講習等の開催、地元で働くための情報提供を行っています。

# 新たな魅力を 創るまちへ

たセミナーの実施等、さらなるチャレンジを支援しています。

水産業においては、生産と加工、流通の基盤となる施設整備を支援し、水産物の品質向上と地産地消の拡大を目指しています。

また、農業では、農家が農業生産物の品質向上や生産拡大を図り、年間を通じて出荷が行える体制を整備するため、支援を拡大しています。

平成26年には、農水産物直売所&地産ビュッフェレストラン「鳥羽マルシェ」を開設。地元の農水産物の魅力発信や、地域で受け継がれてきた食文化の紹介により、地域産物の高付加価値化を目指します。

Industrial Development and Employment Promotion  
Make Our City More and More Attractive.

We offer information about workshops on the production and utilization of local products as well as on the know-how for starting a business and acquiring skills so that young generations can work happily with confidence and pride for the future of themselves and the city.



まちの声を聞く  
TOBA'S SWITCH

### 食材

そのものの味を  
楽しんでいただきたい。

鳥羽には季節折々の旬の食材があり、地元のかたも知らない美味しいものがたくさんあります。そんな地元でとれた新鮮な食材の魅力や健康面での栄養価の情報を発信し、味わっていただけるのが鳥羽マルシェです。訪れた皆さんに、鳥羽のおいしい食材を「お福分け」し、笑顔をお届けします。



鳥羽マルシェ 有限責任事業組合  
店長 谷水 隆さん





## 美しい海を守る鳥羽清港会



市内の港湾や漁港、河川等の清掃・美化を図り、海水の汚濁防止等環境衛生の向上を目的に、市内外約60団体の会員が、毎年「海の日」の前に鳥羽港、佐田浜港、岩崎海岸、中之郷港、安久志海岸を中心に清掃活動を実施しています。

清掃内容は、陸上での清掃作業のほか、ダイバーによる潜水清掃作業も行われ、いつまでも美しい海を守っていく活動に取り組んでいます。



まちの声を聞く  
TOBA'S SWITCH

## 環境パトロールで きれいな町に

鳥羽はたくさんの方の観光客が訪れる自然豊かな町です。訪れたかたがこのまちの美しさを感じ、気持ちよく散策できるよう、また、不法に投棄されたごみや流木などの漂流漂着ごみが発生原因で、きれいな海が汚れないよう「環境パトロール」をしっかりと行っています。



鳥羽市シルバー人材センター  
理事 藤原 稔次さん

## 魅力あるまちづくりのために

### 資源のリサイクル化を推進

ごみの減量化や資源化を進める環境啓発拠点施設「リサイクルパーク」を開設し、家庭から出るリサイクルごみの受け入れ、不要品のリユースショップでの販売、生ごみを堆肥化する取り組みを行っています。



### 公共水域の水質汚濁を防止

自然に大きな負担がかかる、家庭からの生活排水の流出を防ぐ合併処理浄化槽の設置を進めるため、設置費用の一部補助をし、普及啓発活動を行っています。



### 新エネルギーの導入を促進

地球環境を守るために新エネルギーの普及促進に努め、その一環として、市内の個人住宅への太陽光発電システムの設置費用の補助を行っています。



## 美しい海や自然環境を守り 魅力ある風土を形成

現在、大きな環境問題の一つとなっている地球温暖化を防止するため、鳥羽市では公共交通機関の利用や太陽光発電などの新エネルギーの利用など、温室効果ガスの排出を抑制する取り組みを積極的に推進しています。

また、鳥羽市は豊かな海洋資源の恩恵を受けて発展してきたことから、市民の「海」への思いは強く、河川や海洋の水環境を保全するために、生活排水対策として合併処理浄



さらに、快適な生活環境を確保するために、家庭から出る可燃ごみの大半を占める生ごみの堆肥化や、リサイクル活動の拠点施設、一般廃棄物の処理施設を整備するなど、適正なごみ処理とごみの減量化にも取り組んでいます。

環境破壊や地球温暖化を阻止するため、環境にやさしい新エネルギーの普及活動や資源循環型社会をつくる取り組みなどに力を入れ、自然と調和した営みが広がるまちの実現を目指しています。

# 自然と共生し 輝くまちへ

Environmental Protection Measures  
Make Our City Shine through Coexistence with Nature.

In order to prevent further environmental degradation and global warming, we work hard to promote the use of eco-friendly energy and then achieve a recycling society where coexistence with nature is more possible.



鳥羽市のまちづくり  
環境保全  
の対策



## 津波だ！みんな逃げよう宣言



未曾有の被害をもたらした東日本大震災の大津波ですが、伊勢湾沿岸部に位置し、津波被害が拡大するリアス式海岸を有する鳥羽市も南海トラフ地震による大津波の襲来が危惧されています。しかし、津波に対して「すぐ逃げる」意識と行動は、市民に広く定着しているとは言いがたいのが現状です。

こうした状況の中、津波発生時に避難する意識を広めるため「津波だ！みんな逃げよう宣言」を平成23年6月27日に制定。宣言に盛り込まれた、津波発生時に高台に逃げる意識を実際の行動に移すために「津波防災の日」である11月5日の周辺に日を定めて、全市民を対象とした市内一斉津波避難訓練を実施するなどの活動を行っています。



まちの声を聞く  
TOBA'S SWITCH

## 地域を守る 防災対策

自主防災会で市の事業を活用し、防災対策に取り組んでいます。防災マップの作成のほか、子どもたちやお年寄り、障がいを持つかたに配慮した避難路の整備や、要援護者台帳の管理などを行っています。相違は観光客のかたも多い地域なので、これからも様々な取り組みを充実させていきたいですね。



相違町自主防災会会長  
中村 幸照さん



鳥羽市のまちづくり  
防災・減災  
の推進

## 魅力あるまちづくりのために



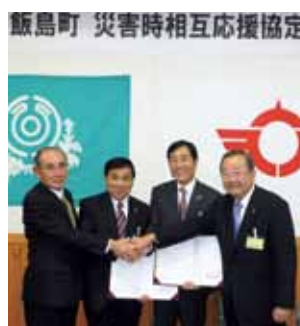
### 津波避難路等の整備

大地震に伴い発生する津波から身を守り、被害を最小限にとどめるために、町内会や自治会が実施する津波避難路や備蓄品の整備に対し補助金を交付し、積極的な災害予防対策を推進しています。



### 市民や観光客向けの 防災対策

災害発生時に市民や観光客の安全を守るため、避難誘導看板や誘導シール等を市内各所に掲示するほか、防災情報のメール配信、防災ラジオの有償配布などを行っています。



### 災害時相互応援協定 を締結

甚大な被害が発生した場合に、被災者の救難や救護などを迅速に行えるよう、同時に被災する可能性が低い長野県大町市、長野県飯島町、岐阜県美濃市、兵庫県三田市などの山間部の市町と「災害時相互応援協定」を締結しています。

## 「自助」「共助」の 活動につなぐ

鳥羽市は地形上、急傾斜地が多く、沿岸部に施設や民家が集中していることから、南海トラフ地震や、台風、集中豪雨等による甚大な被害が危惧されています。そのような中、市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを進めるために、津波避難場所・避難所の見直しやハザードマップの作成、公共施設や民間木造住宅の耐震診断・耐震補強の実施、衛星

携帯電話の整備などによる情報伝達手段の充実を行っています。また、市内各地で自主防災組織を結成していますが、地域住民の連帯意識の希薄化や高齢化などの課題もあります。このことから、防災講演会や出前とく、防災タウンウォッチングを通じた市民の防災意識の啓発により「自助」「共助」の活動の推進を図り、市民・事業者・関係機関・行政が連携しながら、地域や組織の防災活動に取り組んでいくことで、安全・安心なまちづくりを目指しています。

Promotion of Disaster Prevention and Reduction  
Create a Disaster-resistant Community Where People Can Live More Safely.

We are responsible for minimizing damage by wide-scale disasters to protect the precious lives and properties of our citizens. Therefore, we take various countermeasures against natural disasters to raise awareness of disaster prevention among our citizens.

大規模な災害による被害を最小限に抑え  
市民のかけがえのない生命と財産を守るために  
様々な災害対策の取り組みを行い  
地域の防災意識の向上を図っています。

# 災害に強い 住み良いまちへ





# TOBA GUIDE MAP



## 交通アクセス

### 鳥羽市へ

- 車・フェリーを利用  
東京ー浜松 I.Cー伊良湖ー鳥羽  
伊良湖ー鳥羽（フェリー約 55 分）
- 列車を利用  
東京ー名古屋（新幹線 / 1 時間 40 分）  
名古屋ー鳥羽（近鉄・JR/ 1 時間 30 分）  
大阪ー鳥羽（近鉄 / 2 時間）  
京都ー鳥羽（近鉄 / 2 時間 25 分）

### 離島へ

- 市営定期船を利用  
鳥羽ー坂手（約 10 分）  
鳥羽ー菅島（約 15 分）  
鳥羽ー桃取（約 12 分）  
鳥羽ー答志和具（約 20 分）  
鳥羽ー答志（約 25 分）  
鳥羽ー神島（約 35 分）  
（経由便の場合は異なります）

### 市内へ

- 公共バス（かもめバス）を利用  
鳥羽ー小浜（約 5 分）  
鳥羽ー安楽島（約 23 分）  
鳥羽ー松尾（約 31 分）  
鳥羽ー本浦（約 34 分）  
鳥羽ー石鏡（約 43 分）  
鳥羽ー相差（約 50 分）  
鳥羽ー国崎（約 58 分）





鳥羽市 60 年のあゆみ

1954 (S29)	11月12日	市制施行、市章決定、第1回市議会開会 中村幸吉氏初代市長に当選
1955 (S30)	4月	市議会議員選挙（各地区選出の小選挙区制）
1956 (S31)	4月	市長任命による初の教育委員会委員の選任
1957 (S32)	9月	本浦、今浦、石鏡小学校を統合し鏡浦小学校を創立、 鏡浦小学校開校
1958 (S33)	4月1月	市議会議員選挙（市1区の大選挙区制）決まる 監査委員を置く
1959 (S34)	4月9月	選挙管理委員会事務局を置く 伊勢湾台風襲来
1960 (S35)	5月8月	中之郷海岸道路完成 第1回鳥羽パールレース開催
1961 (S36)	1月11月	加茂干拓潮止め完了 イギリスのアレキサンドラ王女ご来鳥
1962 (S37)	3月5月10月	「交通安全都市」宣言 天皇・皇后両陛下ご来鳥 新市庁舎完成
1963 (S38)	1月2月11月	安楽島橋完成 鳥羽商工会議所設立 市消防本部開設
1964 (S39)	1月5月10月11月	市水産研究所開設 市保健相談所開設、「衛生都市」宣言 伊勢志摩スカイライン開通 市制施行10周年
1965 (S40)	7月	市民水泳プール・市民道場完成
1966 (S41)	3月10月	アメリカ合衆国カリフォルニア州 サンタバーバラ市との国際姉妹都市提携 サンタバーバラ市より親善使節団来鳥
1967 (S42)	4月9月11月	坂手島上水道海底送水管完成 市長選挙谷本莊司氏当選 市消防署開設 池上町、鳥羽5丁目、幸丘、若杉町が誕生 故御木本幸吉翁初代名譽市民に
1968 (S43)	2月10月11月	故中村幸吉氏名譽市民に 小田嶋修三氏名譽市民に 市民憲章制定
1969 (S44)	10月11月12月	サンタバーバラ市より親善使節団来鳥 市の象徴制定木…「やまとたちばな」 花…「はまなでし」鳥…「かもめ」 城山児童公園完成
1970 (S45)	3月12月	近畿日本鉄道鳥羽線開通 市営佐田浜駐車場完成
1971 (S46)	4月9月10月	今浦地区上水道完成 天皇・皇后両陛下ご来鳥 市消防本部新庁舎完成
1972 (S47)	12月11月	答志島簡易水道海底送水管完成 近鉄鳥羽駅前に観光案内所開設
1973 (S48)	3月4月	75歳以上老人医療費無料化実施 市民文化会館完成
1974 (S49)	3月8月10月11月	近鉄鳥羽駅前「中之郷間バイパス」工事完成、 パールロード完成（鳥羽・磯部間） 市民体育館完成 市学校給食長岡共同調理場完成 0歳児医療費無料化実施
1975 (S50)	3月5月	全国高等学校総合体育大会相撲競技開催 皇太子ご夫妻ご来鳥
1976 (S51)	6月11月	65歳以上ねたり老人医療費無料化実施 市営定期船中之郷事務所完成 雇用促進住宅安楽島宿舍完成
1977 (S52)	6月9月11月	市中央公園野球場完成 市制施行20周年 サンタバーバラ市より親善使節団来鳥 安楽島大橋完成
1978 (S53)	3月10月	第27回全日本フエニング選手権大会開催 エリザベス女王ご来鳥 菅島簡易水道海底送水管完成 第30回国民体育大会、フエニング・相撲競技開催
1979 (S54)	3月4月9月10月	休日診療所開設 市中央公園庭球場完成 国際観光文化都市に指定

1978 (S53)	3月5月7月	松尾ミミ処理場破砕機完成 神島開発総合センター完成 市中央公園野球場ナイター施設完成
1979 (S54)	4月9月10月	鳥羽・桃取・菅島中学校を統合し鳥羽東中学校を開校 神島簡易水道海底送水管完成 鳥羽市武道館完成
1980 (S55)	1月	市学校給食中央共同調理場完成
1981 (S56)	4月6月	市清掃センター焼却処理施設操業開始 大明東町、大明西町が誕生 市民の森完成
1982 (S57)	12月	救急医療情報システムを開始
1983 (S58)	3月8月	若竹団地完成 全国高等学校総合体育大会相撲競技開催
1984 (S59)	11月	市制施行30周年
1985 (S60)	4月10月	市長選挙濱口光彦氏当選 全国レクリエーション大会、 インディアカ・ゲートボール競技開催
1986 (S61)	3月6月	上水道管理センター完成 「非核平和都市」宣言
1987 (S62)	3月7月	堅神火葬場完成 河内公民館完成
1988 (S63)	3月8月	全国中学校相撲選手権大会開催 全国中学校新校舎完成 答志中学校屋内運動場完成 安楽島公民館完成 相差保育所完成
1989 (H1)	4月12月	市長選挙水谷皓一氏当選 志摩農業共済事務組合発足 新図書館オープン サンタバーバラ市より親善使節団来鳥
1990 (H2)	3月4月7月10月	本浦保育所完成 鏡浦中学校屋内運動場完成 近鉄志摩線複線化工事着工 暴力追放鳥羽市民会議設立
1991 (H3)	2月3月6月	菅島漁村センター完成 南勢水道から受水開始 加茂中学校新校舎完成 三重県豊かな海づくり大会開催
1992 (H4)	3月	加茂中学校屋内運動場完成 答志保育所完成
1993 (H5)	3月7月	加茂出張所、岩倉老人憩の家完成 伊勢志摩国際観光モデル地区に指定
1994 (H6)	3月4月5月7月11月	答志島清掃センター完成 本浦公民館完成 伊勢二見鳥羽ライン開通 答志出張所、答志老人憩の家完成 加茂川改修工事完成 第9回国民文化祭（国際民族芸能）開催 サンタバーバラ市より親善使節団来鳥 市制施行40周年
1995 (H7)	3月4月7月	小浜小学校新校舎完成 鏡浦出張所完成 今浦老人憩の家完成 菅島コミュニティアリーナ完成
1996 (H8)	3月7月8月	国崎小学校新校舎完成 安楽島海岸で恐竜化石発見 全国中学校相撲選手権大会開催
1997 (H9)	4月9月	市長選挙井村均氏当選 相差浄化センター通水式 鳥羽恐竜展、97開幕
1998 (H10)	4月10月	安楽島・船津保育所で長時間保育を実施 4歳未満までの乳幼児の医療費助成引き上げ 鳥羽市を美しくする条例を施行
1999 (H11)	3月4月6月	答志島・菅島簡易水道海底送水管改良工事完成 日和山遊歩道完成 鳥羽志勢広域連合発足 近鉄鳥羽駅改装 鏡浦小学校新校舎完成
2000 (H12)	2月4月	市保健福祉センター「ひだまり」完成 周遊バス「CANばす」運行開始

2000 (H13)	10月11月	第25回世界パラシューティング世界選手権伊勢志摩大会 みえスカイフェスタ2000開催 菅島遊歩道「しろんご海道」完成
2001 (H14)	4月11月	市情報公開条例を施行 真珠フェスタin鳥羽開催 全国スポーツ・レクリエーション祭パトミントン 競技開催
2002 (H15)	4月9月10月	天皇・皇后両陛下ご来鳥 ケープルテレビ開局 サンタバーバラ市より親善使節団来鳥 スカイハウズ・ジャパン・ハイパーフライト チャンピオンシップス（デイスカドック）開催 指定ごみ袋で収集開始
2003 (H16)	2月4月	本庁舎等IS014001認証取得 パールロード（今浦・的矢間）通行料無料化 市制施行50周年
2004 (H17)	10月11月	サンタバーバラ市より親善使節団来鳥
2005 (H18)	3月4月8月	鳥羽磯部漁業協同組合相差支所女性等活動拠点施設 （長岡連絡所）完成 市長選挙木田久主一氏当選 あおぞら保育所完成
2006 (H19)	7月10月	パールロード全線無料化 市戸籍コンビニータ化 とばつ子カード事業の開始 市役所庁舎耐震補強等改修工事完成 指定ごみ袋有料化
2007 (H20)	3月4月7月12月	リサイクルパーク完成 入湯税の導入開始 市民の森公園遊具リニューアル 鳥羽城の江戸時代の石垣発見
2008 (H21)	4月7月9月11月	高速船「きらめき」就航 相橋完成、渡り初め式 ケーブルテレビ行政チャネル開局 御木本真珠島で「御木本幸吉生誕150周年記念式典」開催 皇太子殿下ご来鳥 新鳥羽小学校完成
2009 (H22)	1月3月4月	コミュニティバス機能を備えた新たなバス運行 レジ袋の有料化 答志コミュニティアリーナ完成 菅島しまっこ橋完成 高速船「かがやき」就航 市長選挙木田久主一氏再選 伊良子清白の家開館 中学3年生までの医療費の無料化実施 かもめバス運行 小・中学校の校舎、体育館の耐震補強工事 城山公園整備
2010 (H23)	3月4月	鳥羽城三ノ丸広場完成 新相撲場完成 2人目以降の保育料無料化実施
2011 (H24)	2月3月4月6月	桃取コミュニティセンター（桃取連絡所）完成 畔蛸コミュニティセンター完成 鳥羽マリンターミナル完成 鳥羽定住応援事業の実施 「津波だーみんな逃げよう宣言」 兵庫県三田市との友好都市宣言に調印 岐阜県美濃市と災害時相互応援協定を締結 姉妹都市提携45周年記念 サンタバーバラ市長等 ご来鳥
2012 (H25)	3月4月6月7月9月11月12月	鳥羽マリンターミナルが「みなとオアシス」に認定 とばつ子子育て応援の実施 いきいきお出かけ券 （高齢者公共交通機関利用運賃助成事業）の実施 長野県大町市と災害時相互応援協定を締結 台風17号で高潮等による浸水被害が発生 長野県飯島町と災害時相互応援協定を締結 「とばメール」を導入 加茂小学校校舎完成
2013 (H26)	1月3月	兵庫県三田市と災害時相互応援協定を締結 生活介護施設「ゆめばーる」完成 船津コミュニティセンター完成 大庄屋「かじや」オープン 市長選挙木田久主一氏三選 第二伊勢道路開通 10月8日を鳥羽の日と認定
2014 (H27)	4月10月	鳥羽志勢クリーンセンターオープン 鳥羽マルシェオープン 市制施行60周年